No.DL9-00

KITZ

排水用 通気一体型継手 通気番ナルト（製品記号ＡＡＶＪ）取扱説明書

この度は、**キッツ通気番シリーズ商品「通気番ナルト」**をご購入いただきありがとうございます。
本製品を、長期間正しくご使用いただくために、施工前に必ずこの『取扱説明書』を最後までお読みください。

安全上のご注意

本製品をより安全にご活用いただくために、必ず安全上の注意事項を最後までお読みの上、正しく施工してください。

ここに示した注意事項は、本製品の取扱いを明確にし、使用に際しての人的危害や物的損害を未然に防止するためのものです。いずれも本製品を正しく施工する上で重要な内容ですので必ず守ってください。

⚠注意：この表示を無視し誤った取扱いをすると、使用者が軽傷を追う可能性

1 取扱い上の注意

本製品を施工する際には、以下の注意事項を厳守してください。注意事項を守らず発生した事故・製品の機能不良については、当社はその責任を負いかねます。

⚠注意	
禁止	●**正圧緩和を目的とした配管には設置しないでください。**「通気番ナルト」は吐出し機能がありませんので、排水管内の正圧を緩和することはできません。 ●「通気番ナルト」の保管場所では火を使用しないでください。また、「通気番ナルト」は**有機溶剤**、ペンキなどの環境に保管・設置しないでください。**漏水の原因や性能に悪影響を及ぼします。** ●「通気番ナルト」には、ラッカーシンナー、ウレタンフォーム、**有機溶剤、防蟻剤、防腐剤、殺虫剤**及びペンキなどを直接掛けないでください。**施工前後及びメンテナンスにおいて直接掛かる恐れがある場合は必ず養生をしてください。漏水の原因や性能に悪影響を及ぼします。** ●排水管の**満水試験**や**管内洗浄**の際に、「通気番ナルト」の弁体部に18kPa以上の圧力を加えないでください。**漏水の原因や性能に悪影響を及ぼします。** ●「通気番ナルト」は、**逆勾配**や**二重トラップ**の配管で設置しないでください。誤った配管では充分な性能を得られない恐れがあります。 ●輸送時に投げ出したり衝撃を加えたりしないでください。 ●配管固定等で「通気番ナルト」に過大な力を加えないでください。漏水の原因になります。 ●「通気番ナルト」には直射日光を当てないでください。機能低下の原因になります。
指示	●**「通気番ナルト」に接着剤を塗布するときは、垂直に立てて接着剤が内部に流入しないように塗布してください。**逆さなどで塗布して接着剤が内部に流入すると弁体が正常に作動しません。 ●「通気番ナルト」は、**ごみや埃が付かないような場所に保管するようにしてください。**シール部品などに異物が付着すると、異臭が室内に漏れる恐れがあります。 ●設置場所の**空気流入口(通気口)は、通気管断面積の2倍以上を確保してください。**排水管内に充分な空気量を供給できなくなると、トラップが機能せず異臭が室内に漏れる恐れがあります。 ●「通気番ナルト」は、**必ず垂直に取り付けてください。**垂直以外の向きに設置すると機能を損なう恐れがあります。 ●メンテナンスの際、「通気番ナルト」の取扱いには十分に注意してください。 「通気番ナルト」の**内部部品は、軽量のため破損しやすくなっています。またシール部品に異物が付着しますと、シール性能が損なわれ異臭が室内に漏れる恐れがあります。**

2 製品概要および特徴

「通気番ナルト」は、3階以下建物の排水立て管頂部の継手に通気弁構造を一体化したことによって、伸頂通気管の省略を可能にした製品です。
「通気番ナルト」の特徴は次のとおりです。

■二重管構造による逆流防止機構とスプリング式通気弁の組合せにより、あふれ縁以下の通気弁設置が可能となり、伸頂通気管を省略することができます。

■旋回流を発生させ通気芯を形成することで、システム全体の排水能力を大幅に向上させるため、水廻り設備のトラップが保護されます。また、整流効果により流水音の騒音が低減します。

3 製品構造

「通気番ナルト」は、**図1**に示すような構造及び部品構成になっています。

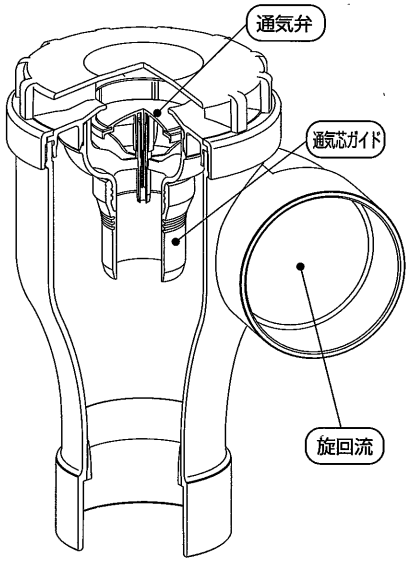

図1「通気番ナルト」の構造

4 施工方法

【工 具】
◇ スケール
◇ ウエス
◇ 塩ビ管用接着剤
◇ 刷毛：接着剤の塗布に使用

【施工前の確認】
■立て管の確認
「通気番ナルト」は、排水立て管頂部に接続する製品です。
接続する立て管がVP管(厚肉)とVU管(薄肉)のどちらであるかをご確認ください。VP管の場合は、同梱のVPアダプタを底部立て管受け口奥に挿入してください。（図2）
◇ 横枝管受け口にはVPアダプタは不要です。
◇ VPアダプタが同梱されていない機種があります。

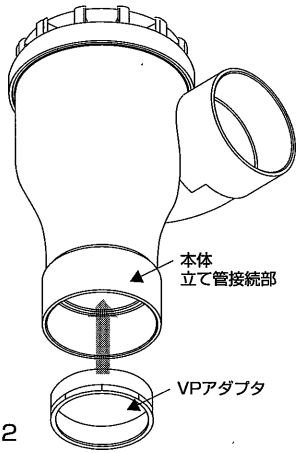

図2

■偏芯量の確認
「通気番ナルト」の横枝管は立て管に対して偏芯しています。
偏芯量は**図3**、**表1**に示しますので、配管設計時にあらかじめご配慮ください。

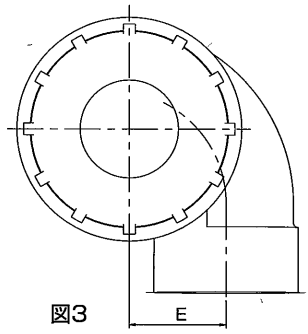

図3

表1

サイズ	偏芯量E(mm)
75×75	65

■取付け場所

1）「通気番ナルト」は、3階以下の建物を対象としており、屋内の排水立て管頂部に設置する製品です。図10の設置例をご参照いただき正しい場所でご使用ください。

2）「通気番ナルト」は、空気の流入がスムーズな場所に設置してください。密閉度が高く、容積の小さなパイプシャフトなどに設置せざるを得ない場合は、通気管断面積に対して2倍以上の空気流入口(通気口)を設けてください。(図4)

3）床下などの隠蔽(いんぺい)部に設置する場合は必ず点検口を近くに設けてください。

4）寝室・リビングルーム等に隣接する屋内のパイプシャフトに設置する場合は、流水音に対する防音対策を施してください。

5）正圧緩和を目的とした配管には設置しないでください。「通気番ナルト」は吐出し機能がありませんので、排水管内の正圧を緩和することはできません。

6）「通気番ナルト」は、逆勾配や二重トラップの配管で設置しないでください。誤った配管では充分な性能を得られない恐れがあります。

7）「通気番ナルト」の保守・点検のために、あらかじめ上部に作業ができるような空間として、80mm以上(100mm以上推奨)を確保してください。（図5）

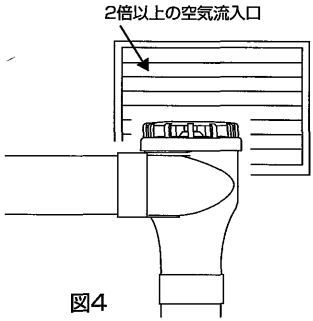

図4

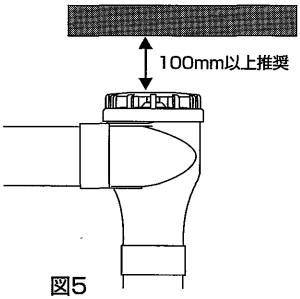

図5

■取付け方法

1）「通気番ナルト」は、必ず垂直に取り付けてください。
垂直以外の向きに取り付けると機能を損なう恐れがあります。
（図6）

2）接続は塩ビ管用接着剤を用いて、空気漏れのないように受け口及び管の全周に塗布し、受け口の奥まで差し込んで保持してください。（図7、8）
はみ出した接着剤はウエス等で拭き取ってください。

3）「通気番ナルト」に接着剤を塗布するときは、垂直に立てて接着剤が内部に流入しないようにしてください。
逆さなどで塗布して接着剤が内部に流入すると弁体が正常に作動しません。（図9）

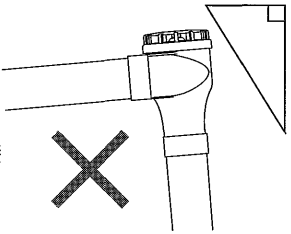
図6

■取扱い上の注意点

1）「通気番ナルト」は、ごみや埃が付かないような場所に保管するようにしてください。シール部品などに異物が付着すると、異臭が室内に漏れる恐れがあります。

2）出荷時に「通気番ナルト」のキャップ部に貼り付けているラベルは分解封印を兼ねています。使用者が安易に分解しないようにするためですので、剥がさないでください。
また、内部部品は軽量のため破損しやすく、またシール部品に異物が付着しますとシール性能が損なわれ異臭が室内に漏れる恐れがありますので、異物が付着しないようメンテナンスの際の取扱いには十分に注意してください。

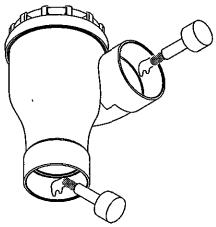
図7

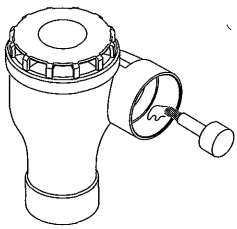
図8

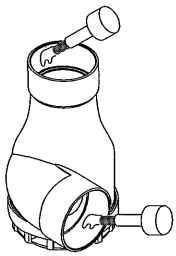
図9

※本図は「通気番ナルト」の設置例を説明するための図です。
排水システム全体の形態は適切な表現ではありません。

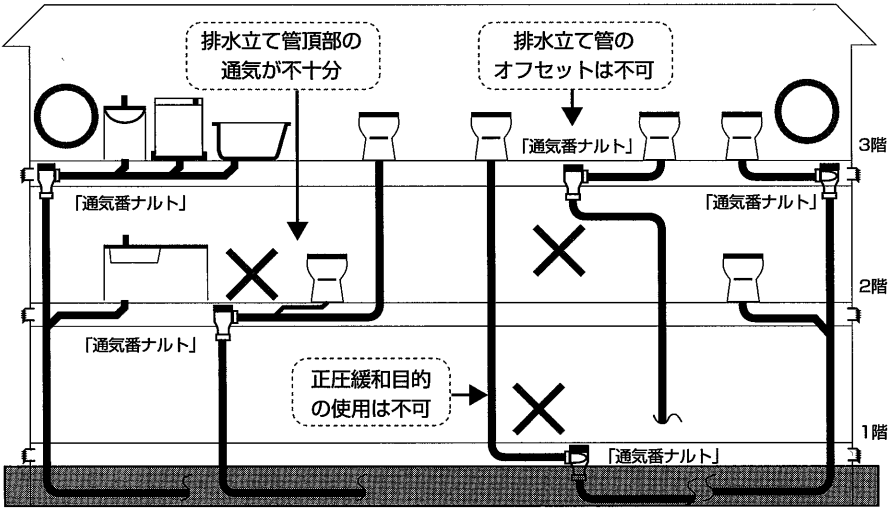

図10「通気番ナルト」設置例

5 メンテナンス方法

「通気番ナルト」は、万一故障が発生した場合に備えて、分解・点検ができるようになっています。図11に示す部品構成を確認した上で、以下の手順に従って正しく行ってください。

【分解方法】

①キャップの対面の格子部分をつかみ、反時計回りにねじを回転させてキャップを取り外します。（図12）

②通気弁ユニットの円盤外周4ヶ所の凹部にマイナスドライバーなどの先端が平板形状の工具を差込み、テコのようにして軽く持ち上げ、通気弁ユニットを取り外します。

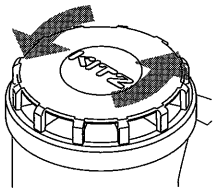

図12

【点検・交換方法】

①ボデー本体内部および通気弁ユニットに付着物がないか確認します。

②ボデーに付着物が認められた場合には洗浄して取除きます。

③通気弁ユニットの弁体を指で押して、スムーズに閉止するか確認し、異常があれば新しいユニットに交換します。(図13)

※通気弁ユニットは分解しないでください。故障の原因になります。

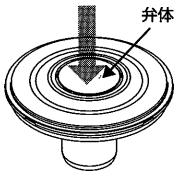

図13

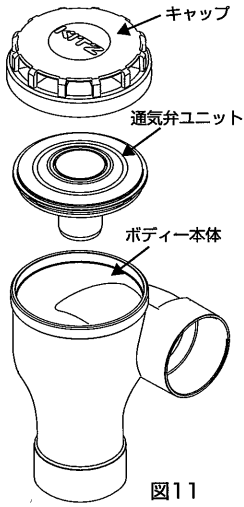

図11

日本で最初にISO9001認証取得
KITZ
株式会社キッツ
本社 〒261-8577千葉市美浜区中瀬1-10-1

北海道支店 ☎011-733-2225　大阪支社 ☎06-6541-1178
東北支店 ☎022-296-2317　中国支店 ☎082-248-5903
東京支社 ☎043-299-1705　九州支店 ☎092-431-7877
中部支社 ☎052-562-1541　給装営業部 ☎043-299-1760

0806